授業科目　高次脳機能作業療法学

| 【担当教員名】 | 対象学年 | 2 | 対象学科 | 作業 |
|---|---|---|---|---|
| 能登　真一 | 開講時期 | 後期 | 必修・選択 | 必修 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 15 |

【一般目標：ＧＩＯ】
認知や行為、言語といった脳の高次機能の障害である高次脳機能障害について、その定義やメカニズム、臨床像といった全容を把握するとともに、各評価方法を学習し身につける。

【行動目標：ＳＢＯ】
1. 高次神経機能の全体像とそれをひきおこす対象疾患について理解できる。
2. 高次神経障害の評価で注意することを述べることができる。
3. 個々の症状の臨床像を述べることができる。
4. 個々の症状の定義を述べることができる。
5. 症状にあった評価法を選択し、実施することができる。

| 回数 | 授業計画又は学習の主題 | SBO番号 | 学習方法・学習課題又は備考・担当教員 |
|---|---|---|---|
| 1 | 高次脳機能とそれらをひきおこす対象疾患 | 1 | 講義 |
| 2 | 高次脳機能評価の概要 | 1,2 | 講義 |
| 3 | 注意障害、記憶障害 | 3,4,5 | 講義・演習 |
| 4 | 失語 | 3,4,5 | 講義・演習 |
| 5 | 失行 | 3,4,5 | 講義・演習 |
| 6 | 半側空間無視 | 3,4,5 | 講義・演習 |
| 7 | 失認、前頭葉症状 | 3,4,5 | 講義・演習 |

| 【使用図書】 | ＜書名＞ | ＜著者名＞ | ＜発行所＞ | ＜発行年・価格・その他＞ |
|---|---|---|---|---|
| 教科書 | 高次脳機能障害学 | 石合純夫 | 医歯薬出版 | 2003年・4200円 |
| 参考書 | 神経心理学入門 | 山鳥　重 | 医学書院 | 1985年・6400円 |
| | 高次脳機能障害マエストロシリーズ③ リハビリテーション評価 | 鈴木孝治他編 | 医歯薬出版 | 2006年・2600円 |
| その他の資料 | | | | |

【評価方法】
小テスト・・・・・20%
期末試験・・・・・80%

【履修上の留意点】